

平成31年度第2回松戸東警察署協議会

1 開催日

令和元年9月25日（水曜日）

2 開催場所

松戸東警察署

3 出席者

・協議会委員6人　・警察署11人

4 議題

(1) 刑事課長

犯罪情勢(令和元年8月末現在)について

(2) 生活安全課長

- ・電話de詐欺の発生状況（令和元年8月末現在）について
- ・電話de詐欺の抑止対策の推進状況について

(3) 交通課長

- ・交通事故発生状況（令和元年8月末現在）について
- ・交通事故防止対策の推進状況について

5 委員からの意見要望

【質問】 電話de詐欺対策の実施による発生件数の半減という数字はすばらしいと思うが、どこまでの数字を目標にしているか。

【回答】 ゼロというのは難しいと思いますが、毎年半減させて行けば限りなくゼロに近づけるのではないかと考えています。

【質問】 松戸東署での取組を他の所属ではやらないのか。

【回答】 警察専門紙である日刊警察に掲載する等して広めています。

補足ですが、先般都内でアポ電強盗が連続発生した件を捉えて、銀行などの機関と協力してタンス預金対策も進めたいと考えています。

【要望】 自分の家にも入られて300万円を盗まれたことがある。

高齢者のために取り組んでもらえると助かるが、銀行の職員などが高齢者の自宅まで来て銀行預金等の手続きをやってくれないか。

【回答】 銀行側のコストパフォーマンス的には厳しいのではないかと思います。

高齢者の方は、年金の受け取りなどで2か月に一度は銀行に来ていると思うのでその機会に預金等をしてもらおうと良いと思います。

また、お体の不自由な高齢者の方が銀行に行きやすいように、管内の信頼できるタクシー会社等と協力して運賃を銀行側で負担していただき送迎する等の方策も考えております。

どこまで警察と銀行が連携できるかが今後の課題となります。

6 諮問事項

松戸東警察署における高齢者総合支援について

【諮問】 松戸東警察署における高齢者総合支援について説明します。

○モデル地区事業の推進

県下全域・管内全域での一斉実施は困難なため、小金原、栗ヶ沢をモデル地区に指定して様々な取組を行い、効果的なものを管内全域に広めたいと考えています。

○検討中の高齢者見守り活動

・NTTとの連携「家モニ」

他の見守りサービスで顕在化している行動予測が難しい高齢者の状態検知を行動パターンによらず変動する消費電力を通じて実施することで、精度が高い見守りを実現します。

見守り対象者の方の生活パターン（電力消費傾向）を把握しておき、普段とは異なるパターンとなった場合に、対象者の方への安否確認や登録された連絡先への連絡を行います。

・富士通との連携

富士通ソーシャルライフシステムズ株式会社では、現在、各戸への機器設置による緊急通報システムの整備を進めており、同装置を媒介として高齢者の自宅の各部屋にスイッチ等を設置し、有事の際の通報を受け、警察やヘルパー等に通知する仕組みとなっています。

○アポ電対策

・1回目（緊急対策）

東京都内において「アポ電強盗」が連続発生したことから、管内住民に注意を呼びかけるべく緊急対策として防犯チラシを作成し、管内小中学校へ1万2千部、幼稚園及び保育園へ2千部、新聞折り込みチラシで2万部の合計3万4千部を配布しました。

反響として、千葉日報に記事として掲載された他、発生の減少、110番通報の増加、安全・安心メールの加入者増加等の効果がありました。

・2回目（新たな対策）

前回配布した「アポ電強盗」への注意を呼びかけるチラシが効果を発揮したことから、アポ電の犯人の音声を再生できる最新技術を用いた防犯チラシを新たに作成し、新聞折り込みチラシで1万5千部、小金原防犯協会へ1万5千部、各金融機関へ5千部、署交通課を通じての配布を5千部の合計4万部の配布による広報活動を実施する予定です。

【要望】 カード手交型の報告が多く、今年に入って5件の報告を受けているが、タンス預金対策としてもっと防犯活動をすることはできないか。

高齢者がタンス預金をする原因は、銀行に預けても金利が低く、払い出す時には行員や警察官に色々と理由を聞かれるからではないかと思う。

銀行側でも店頭で説明をしているが、中々聞き入れてもらえないので警察と協力したい。

【回答】 協力したいと思います。

交通関係で説明が足りなかったのですが、高齢者による大事故が多発しており、先日当署管内で発生したスーパーマーケット駐車場内での車両4台の関係する事故はたまたま死傷者がいなかったから大事にはなりませんでしたが、歩行者がい

たら死亡事故になっていたと思います。

高齢者の運転免許証の自主返納を進めたいと考えており、高齢者が車を運転しなくても生活に不自由しないように、松戸市長とバスの運行路線の増加等について話しています。